

市内中小企業景況調査報告書

令和3年 1月～ 4月 実績

令和3年 5月～ 8月 見通し

令和3年 5月

江別商工会議所

目 次

I 調査要領

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 業種別回答状況	2

II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業 況	3
3. 売上状況	8
4. 利益状況	9
5. 資金繰り状況	10
6. 設備投資状況	11
7. 雇用状況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経営上の問題点	14

III 業種別参考資料

1. 製造業	15
2. 小売業	16
3. サービス業	17
4. 建設業	18

I 調査要領

1. 調査対象

- ・市内中小企業 400企業
- 【内訳】
 - ・製造業 81企業
 - ・卸売業 50企業
 - ・小売業 68企業
 - ・サービス業 101企業
 - ・建設業 100企業

2. 調査方法

- ・郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・調査票発送日 令和3年4月9日
- ・調査票回答期限 令和3年5月6日

3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	81	42	51.9%
卸売業	50	17	34.0%
小売業	68	29	42.6%
サービス業	101	46	45.5%
建設業	100	39	39.0%
合計	400	173	43.3%

※ 本調査結果報告書中の「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

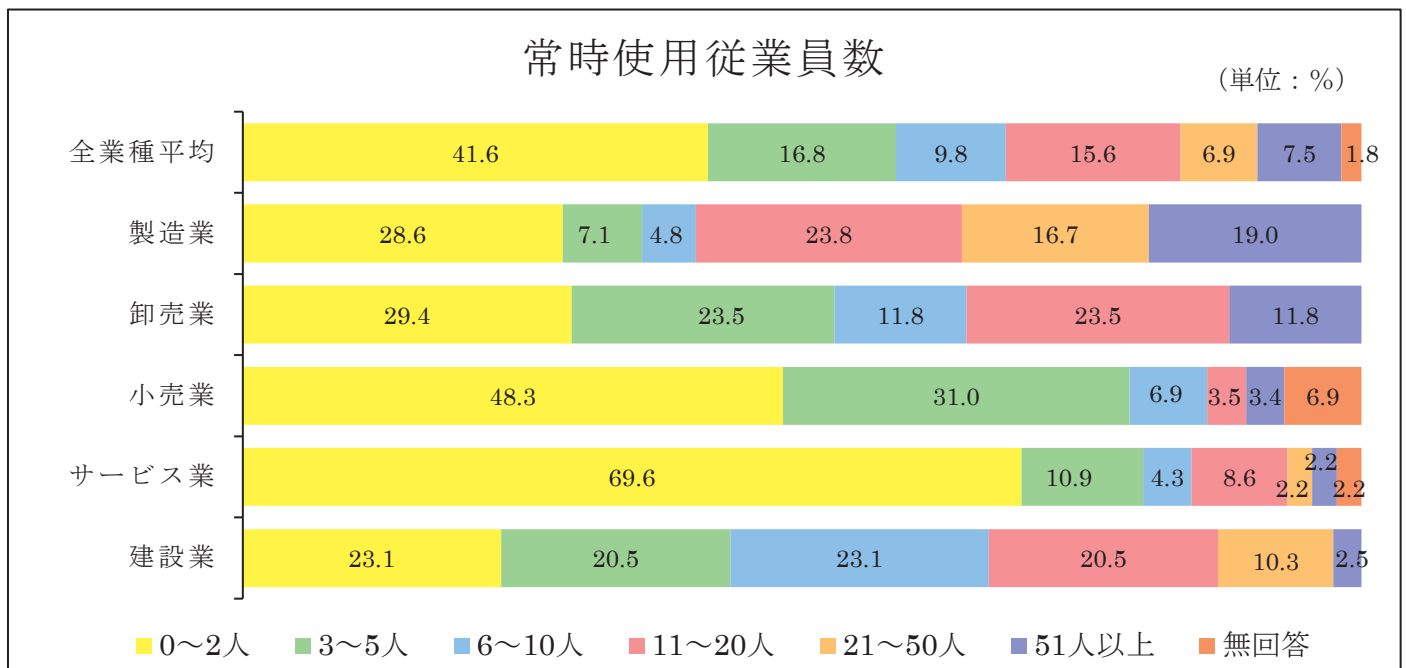
※ 本調査結果報告書中の「前回」とは、令和2年12月（令和2年9月～12月）を示し、「前年同期」とは、令和2年4月（令和2年1月～4月）を示す。

II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約84%を占めており、そのほとんどが小規模企業であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



2. 業 況

内閣府が発表した月例経済報告（令和3年4月発表）によると、個人消費はこのところ弱含んでいるとされ、企業収益は新型コロナウイルス感染症の影響により非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直しているとなった。生産並びに設備投資は持ち直しており、雇用情勢は感染症の影響により弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。倒産件数は減少しており、企業の業況判断は、厳しさは残るものの持ち直しの動きがみられるとされた。景気は感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの一部に弱さがみられる。先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があると、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があるとされている。

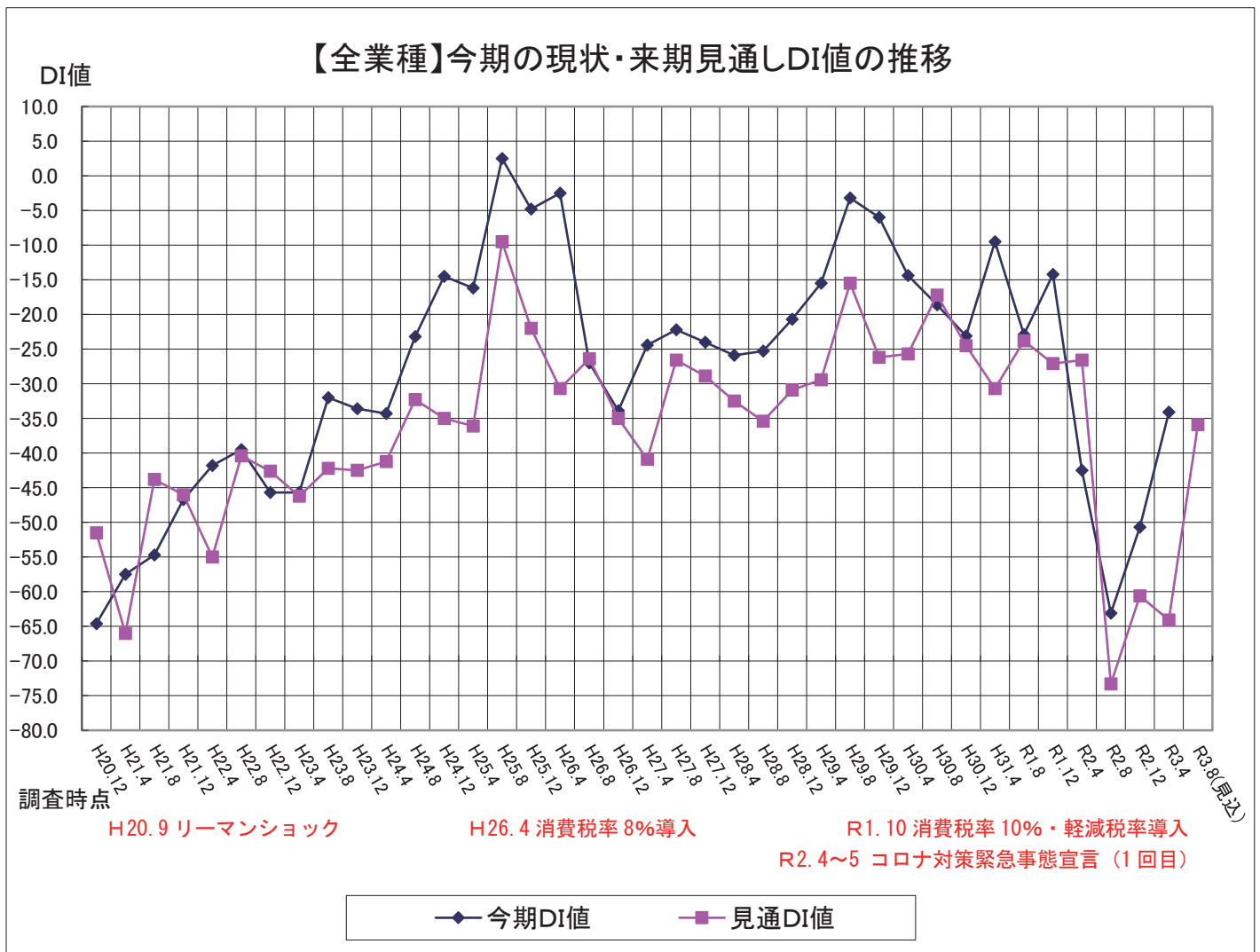
北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和3年4月発表）によると、生産活動は「持ち直しの動きがみられる」、個人消費は「持ち直しの動きに弱さがみられる」、住宅建設は「持ち直しの兆しがみられる」、民間設備投資は「減少している」、企業倒産については「件数、負債総額とも減少している」、公共工事は「減少している」、雇用動向は「弱い動きがみられる」との判断が継続され、有効求人倍率は0.94倍と前年同月比0.22ポイント減少し、14か月連続で前年を下回った。

道内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる。先行きについては、感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要があるとされている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和3年1月～4月）では、全業種平均の今期業況DI値は△34.1と前回（令和2年12月期）△50.7に比べ16.6ポイントの改善となった。業種別に見ても、製造業で2.5ポイント、卸売業で15.6ポイント、小売業では58.7ポイント、サービス業では20.6ポイント、建設業では2.5ポイントと全ての業種で改善した。今期業況DI値を前年同期（令和2年4月期）の調査結果と比較すると、卸売業で3.9ポイント、小売業で37.8ポイント、サービス業で27.5ポイントの改善となったが、製造業で0.9ポイント、建設業で15.3ポイントの悪化となっている。今期の景況感は全業種で新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な悪化からの改善がみられ、特に小売業は大きく改善となっているが、その他の業種では依然として厳しい状況が続いている。来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると製造業で4.7ポイント、サービス業で8.7ポイント、建設業で10.2ポイントの改善となったが、卸売業で6.0ポイント、小売業では41.5ポイント悪化の見通しとなっている。景況の先行きについては引き続き厳しい状況の中で、持ち直しの動きが続いているものの業種によっては弱さがみられる。

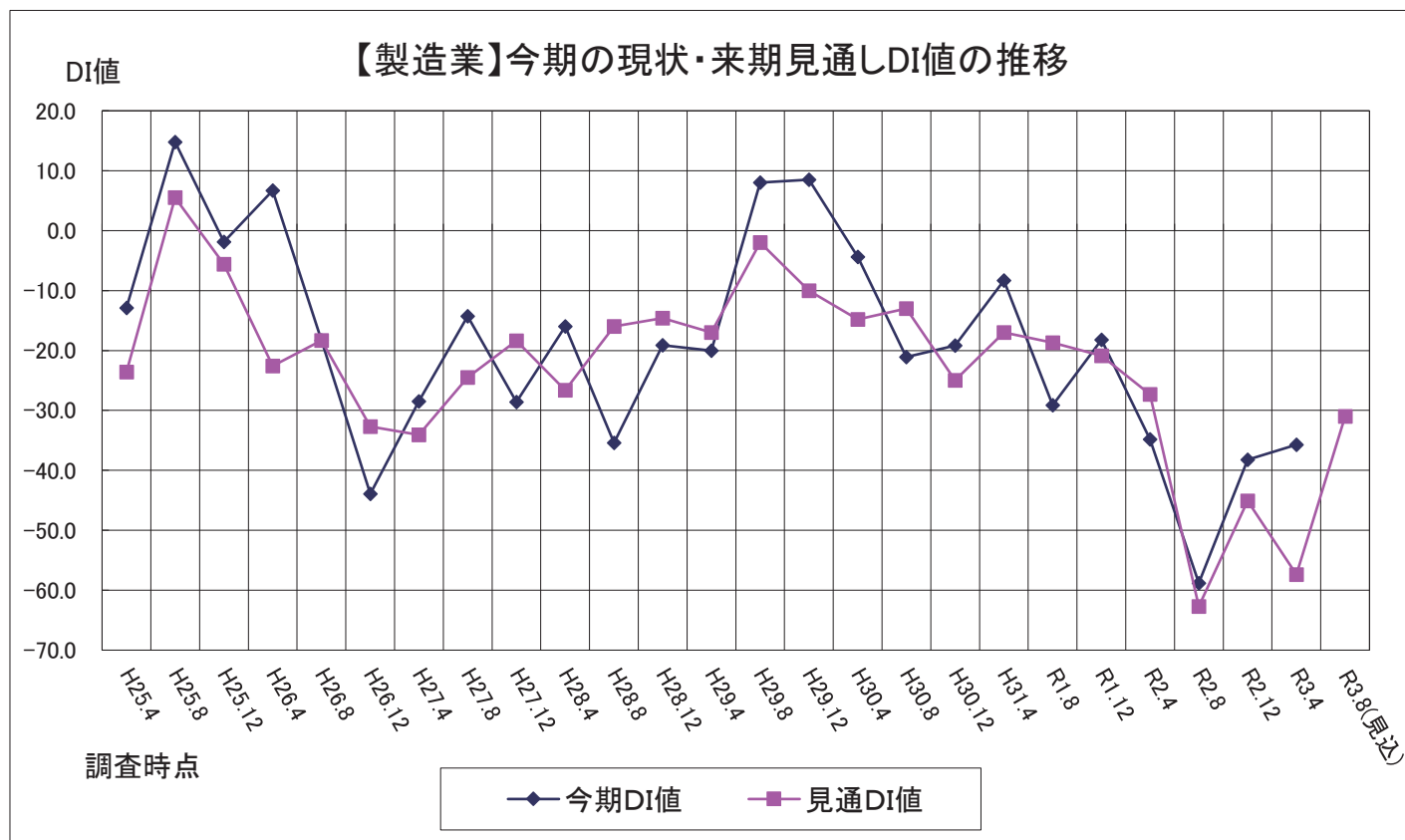
全業種平均

- ・今期DI値は△34.1となり、前回より16.6ポイント、前年同期より8.4ポイント改善。
- ・来期DI値は△35.9となり、今期より1.8ポイント悪化。



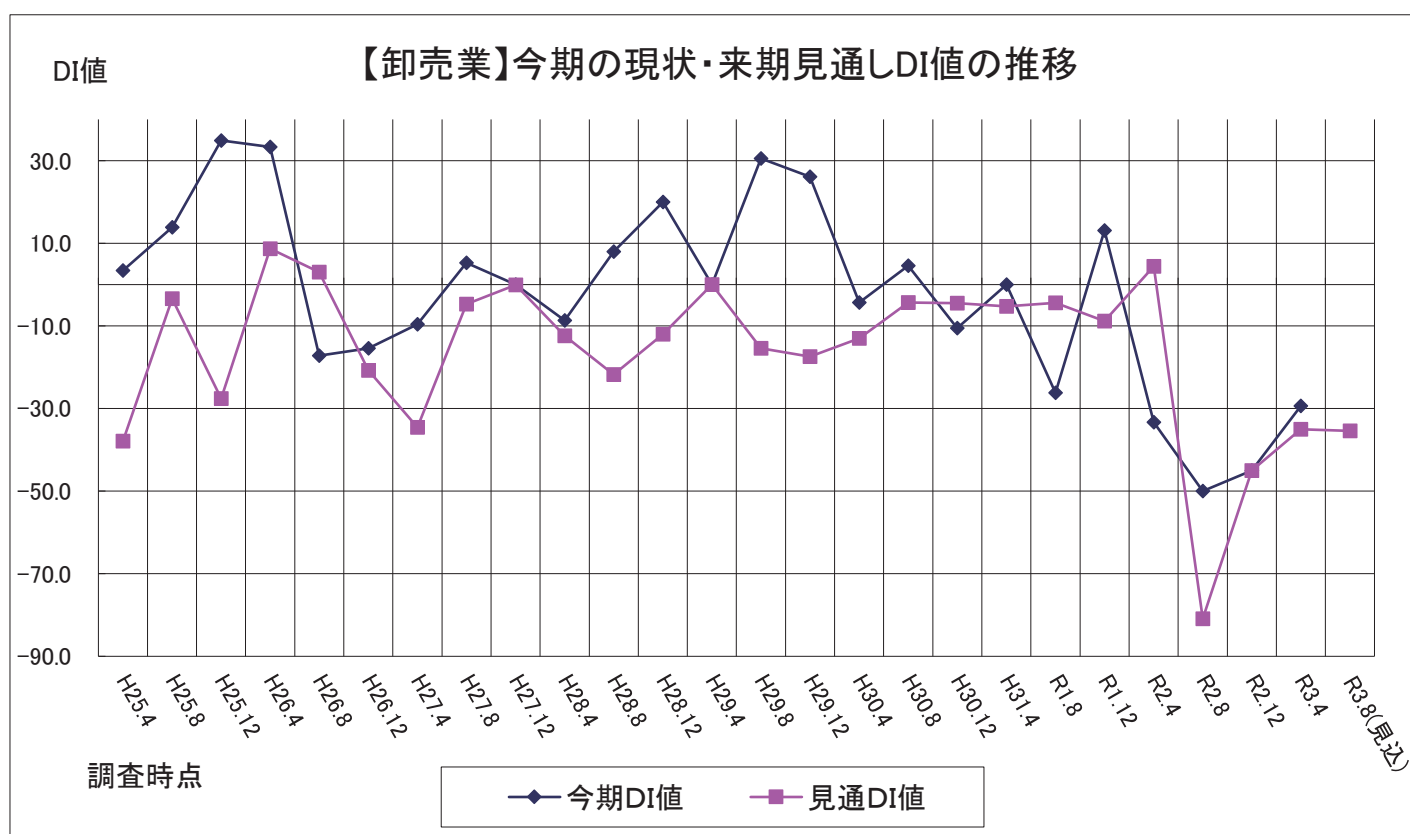
製造業

- ・今期D I値は $\Delta 35.7$ となり、前回より2.5ポイント改善、前年同期より0.9ポイント悪化。
- ・来期D I値は $\Delta 31.0$ となり、今期より4.7ポイント改善。



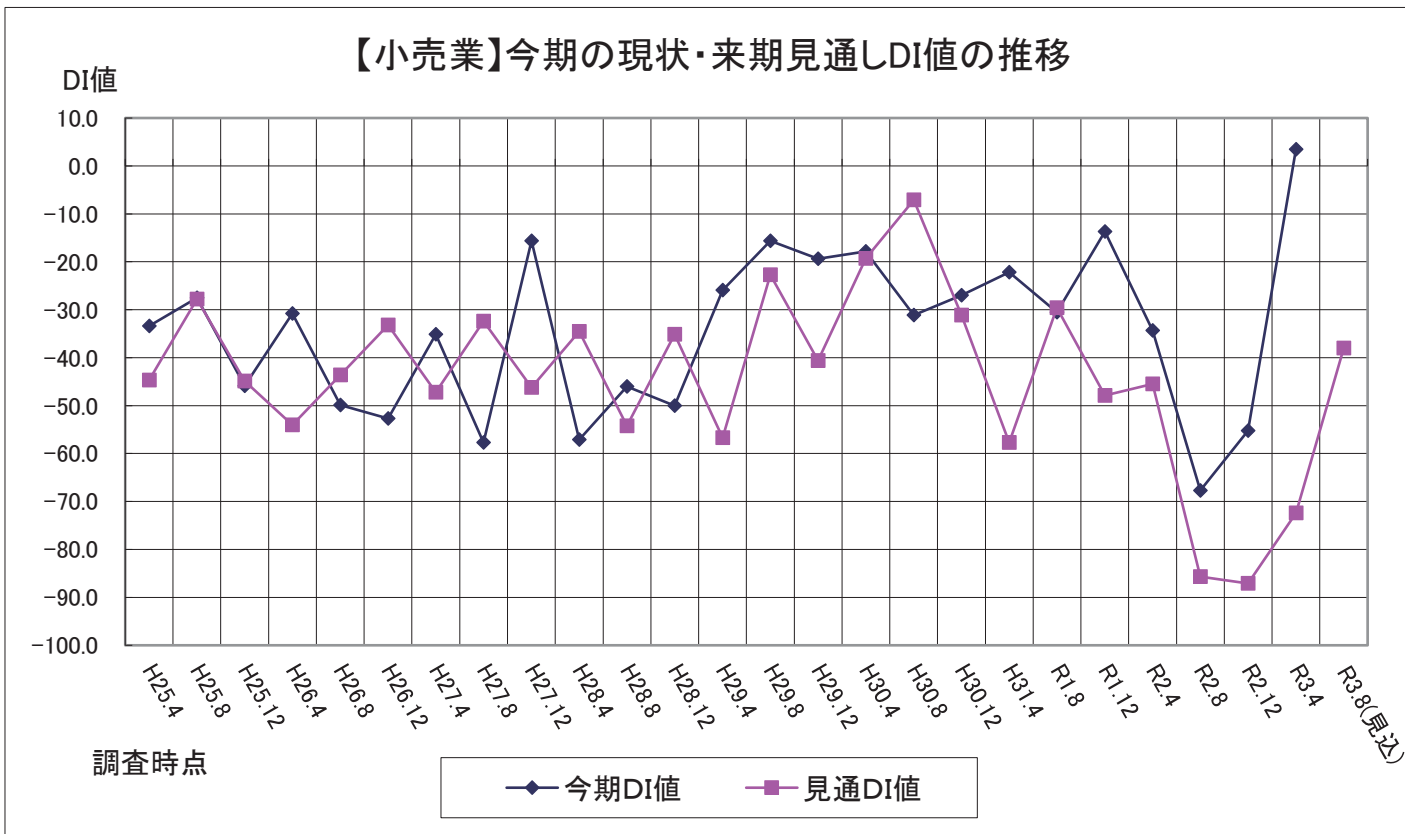
卸売業

- ・今期D I値は $\Delta 29.4$ となり、前回より15.6ポイント、前年同期より3.9ポイント改善。
- ・来期D I値は $\Delta 35.4$ となり、今期より6.0ポイント悪化。



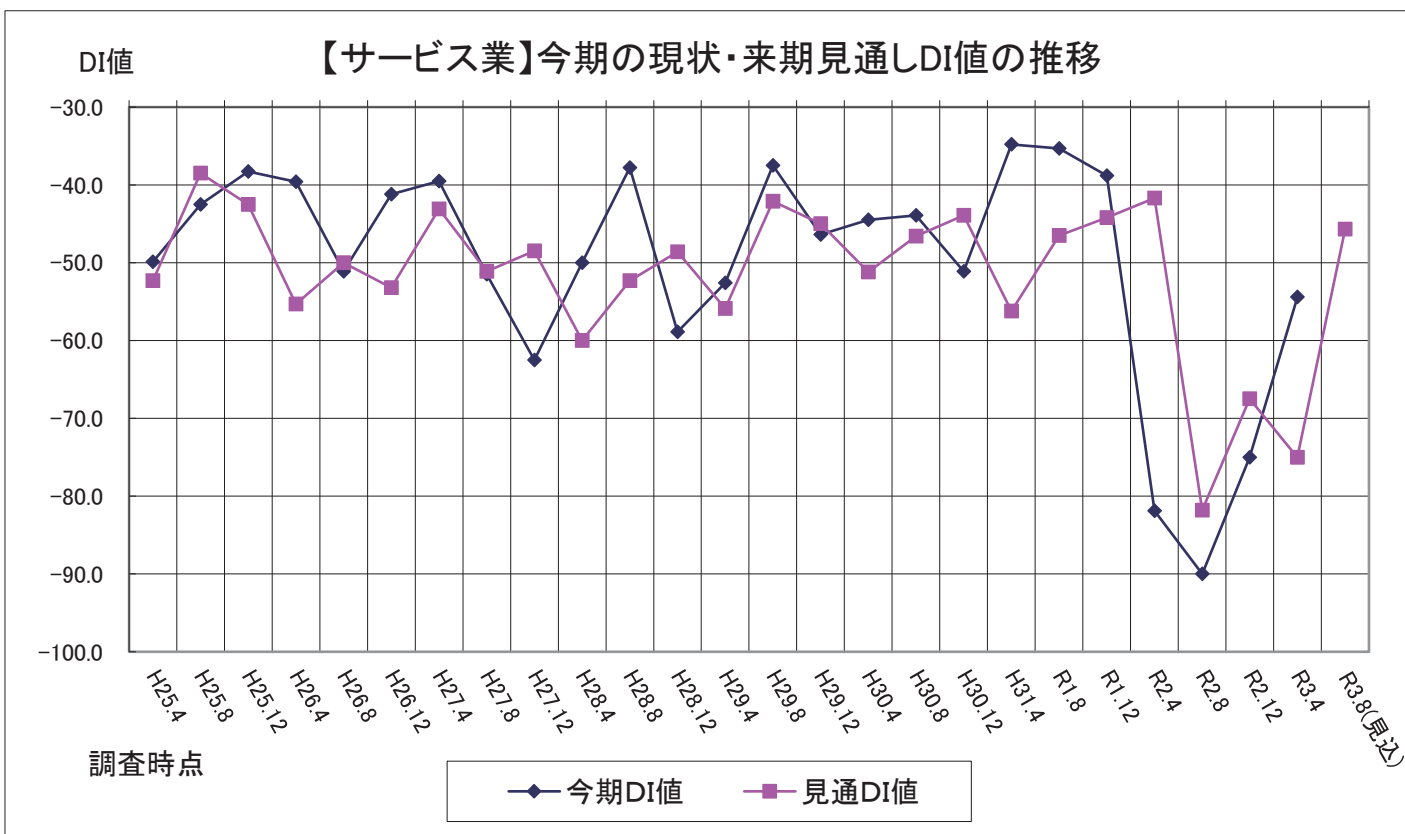
小 売 業

- ・今期D I 値は3.5となり、前回より58.7ポイント、前年同期より37.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△38.0となり、今期より41.5ポイント悪化。



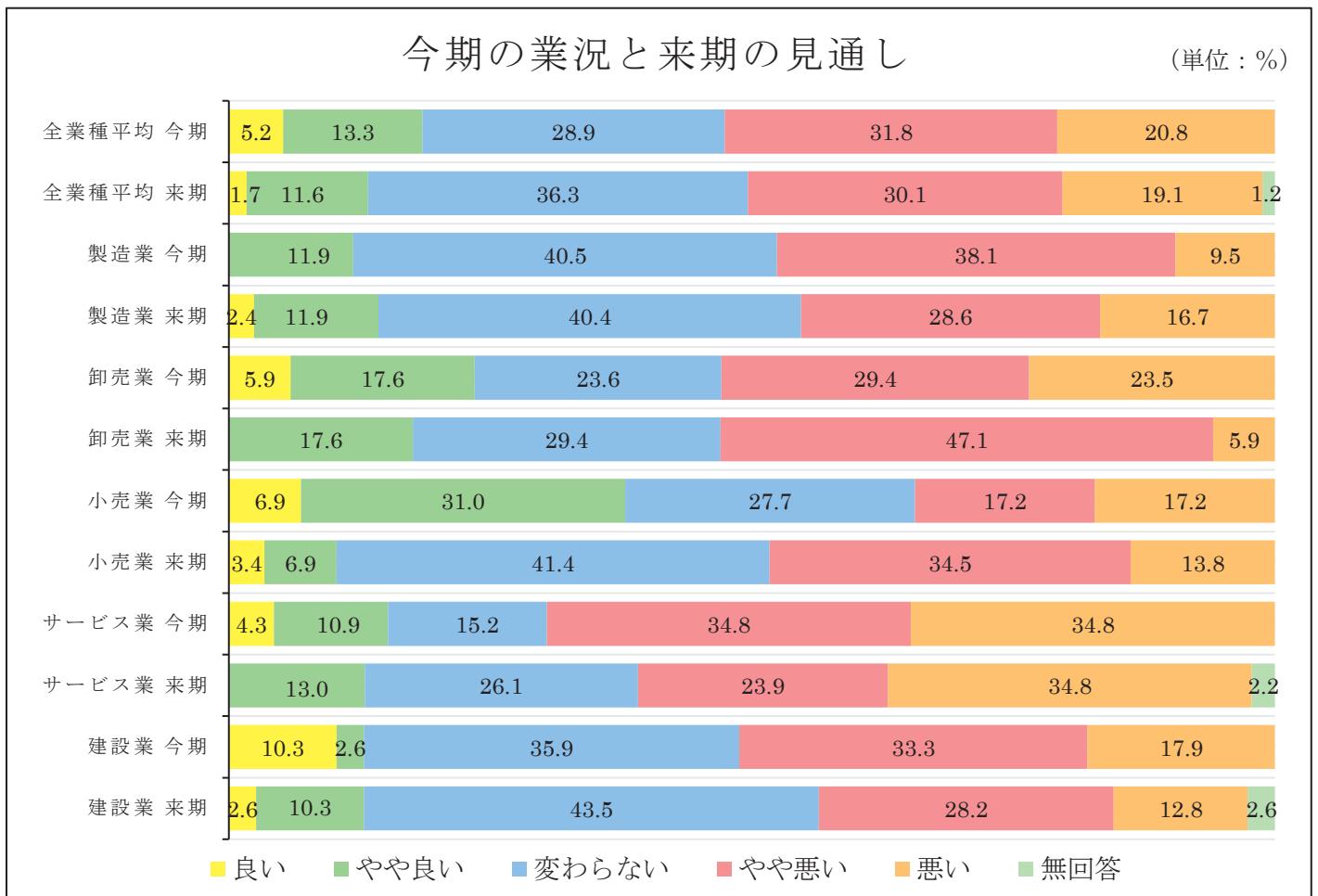
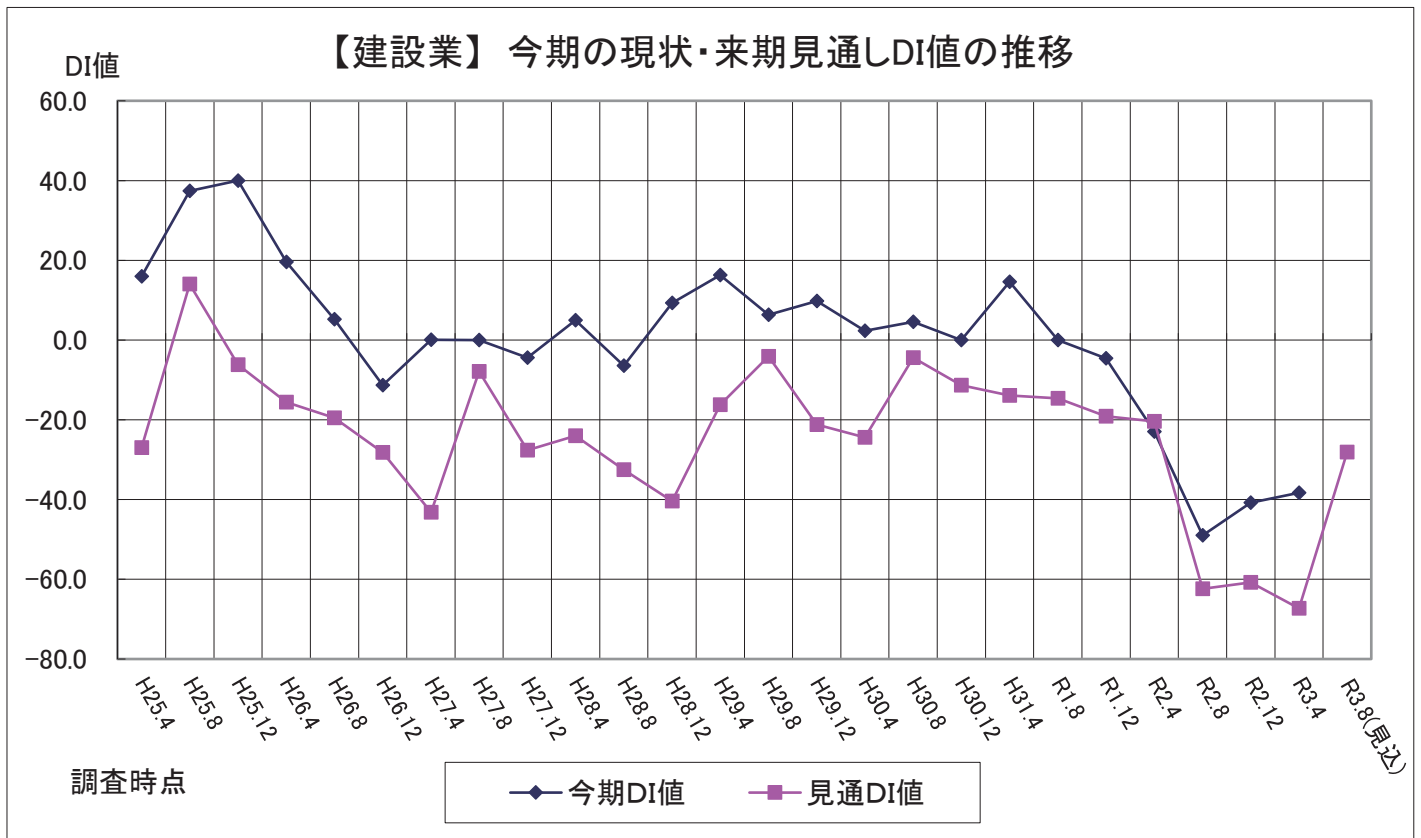
サービス業

- ・今期D I 値は△54.4となり、前回より20.6ポイント、前年同期より27.5ポイント改善。
- ・来期D I 値は△45.7となり、今期より8.7ポイント改善。



建設業

- ・今期D I値は△38.3となり、前回より2.5ポイント改善、前年同期より15.3ポイント悪化。
- ・来期D I値は△28.1となり、今期より10.2ポイント改善。



3. 売上状況

全業種平均

- ・今期D I 値は△31.8となり、前回より19.0ポイント、前年同期より14.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△34.1となり、今期より2.3ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I 値は△23.8となり、前回より6.0ポイント、前年同期より11.0ポイント改善。
- ・来期D I 値は△21.5となり、今期より2.3ポイント改善。

卸売業

- ・今期D I 値は△29.4となり、前回より20.6ポイント改善、前年同期より5.6ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△35.4となり、今期より6.0ポイント悪化。

小売業

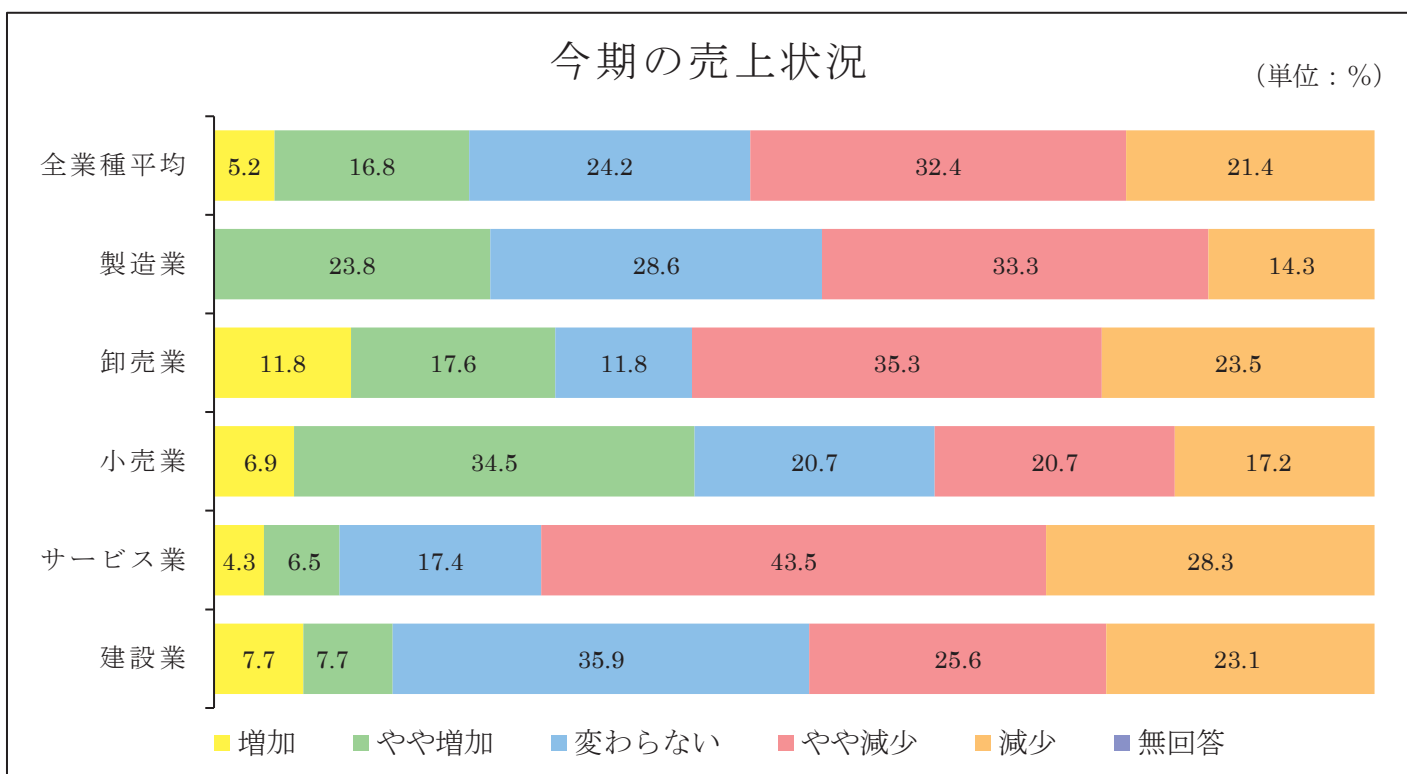
- ・今期D I 値は3.5となり、前回より65.7ポイント、前年同期より57.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△34.5となり、今期より38.0ポイント悪化。

サービス業

- ・今期D I 値は△61.0となり、前回より14.0ポイント、前年同期より20.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△47.8となり、今期より13.2ポイント改善。

建設業

- ・今期D I 値は△33.3となり、前回より9.6ポイント改善、前年同期より4.1ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△30.7となり、今期より2.6ポイント改善。



4. 利益状況

全業種平均

- ・今期D I 値は△28.5となり、前回より18.0ポイント、前年同期より12.7ポイント改善。
- ・来期D I 値は△43.3となり、今期より14.8ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I 値は△21.4となり、前回より12.6ポイント、前年同期より4.2ポイント改善。
- ・来期D I 値は△23.8となり、今期より2.4ポイント悪化。

卸売業

- ・今期D I 値は△17.6となり、前回より7.4ポイント、前年同期より15.7ポイント改善。
- ・来期D I 値は△47.0となり、今期から29.4ポイント悪化。

小売業

- ・今期D I 値は6.9となり、前回より55.2ポイント、前年同期より46.9ポイント改善。
- ・来期D I 値は△48.2となり、今期から55.1ポイント悪化。

サービス業

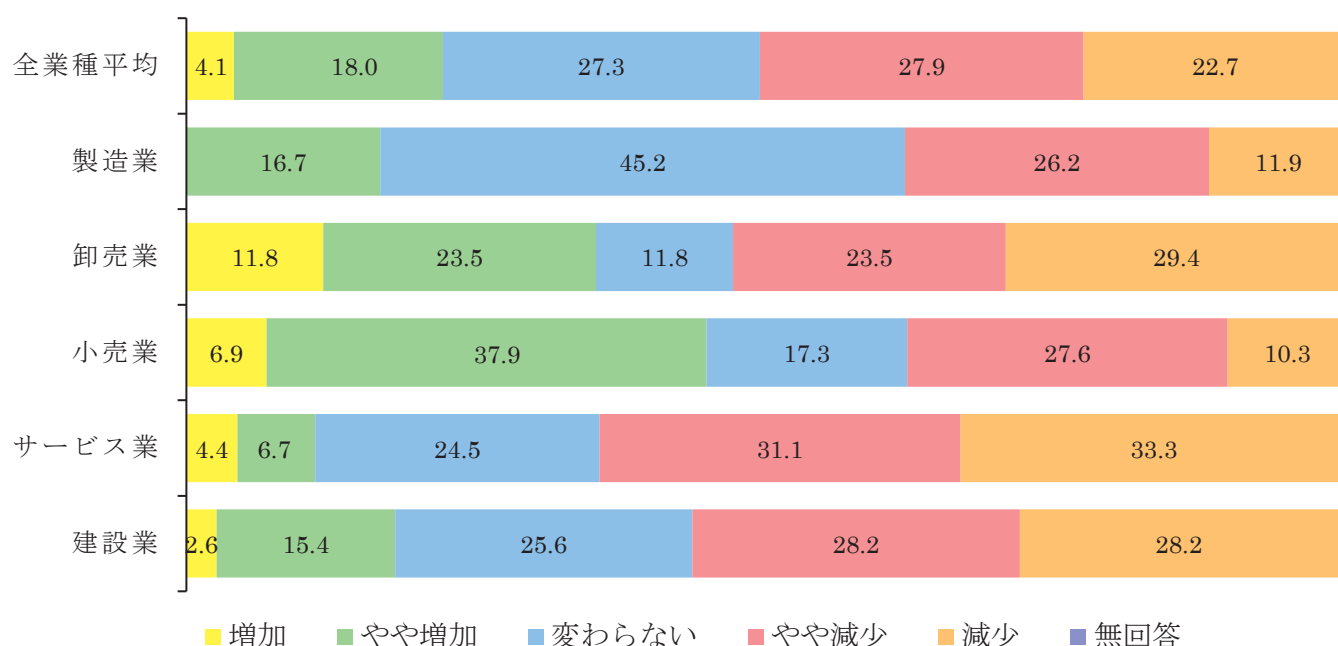
- ・今期D I 値は△53.3となり、前回より21.7ポイント、前年同期より24.0ポイント改善。
- ・来期D I 値は△60.9となり、今期より7.6ポイント悪化。

建設業

- ・今期D I 値は△38.4となり、前回より2.4ポイント改善、前年同期より11.3ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△38.4となり、今期D I 値と同水準。

今期の利益状況

(単位：%)



5. 資金繰り状況

全業種平均

- ・今期D I 値は△14.4となり、前回より1.5ポイント、前年同期より12.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△28.4となり、今期より14.0ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I 値は△7.2となり、前回より14.0ポイント改善、前年同期より0.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△28.5となり、今期より21.3ポイント悪化。

卸売業

- ・今期D I 値は△5.8となり、前回より25.8ポイント悪化、前年同期より18.0ポイント改善。
- ・来期D I 値は△23.5となり、今期より17.7ポイント悪化。

小売業

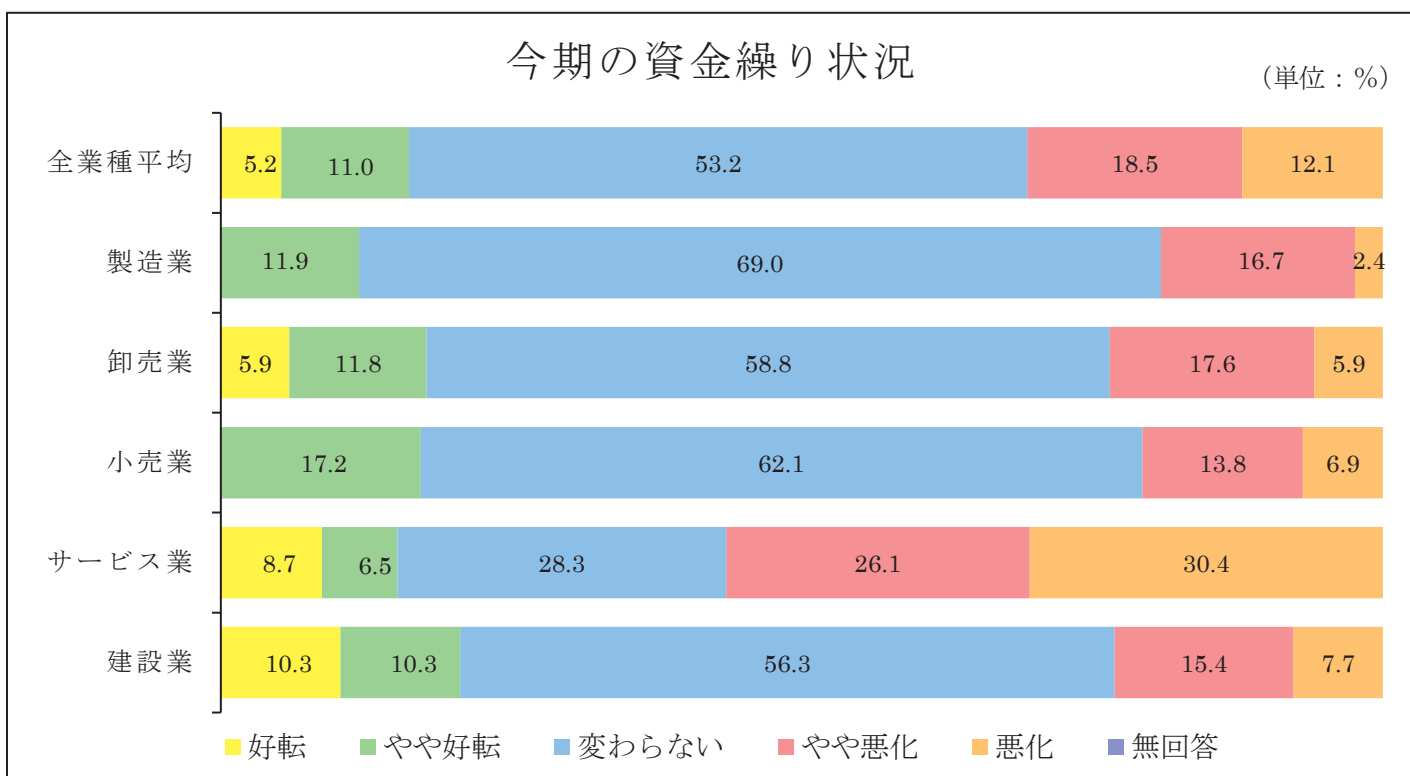
- ・今期D I 値は△3.5となり、前回より13.7ポイント、前年同期より33.6ポイント改善。
- ・来期D I 値は△17.2となり、今期より13.7ポイント悪化。

サービス業

- ・今期D I 値は△41.3となり、前回より1.8ポイント、前年同期より17.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△43.4となり、今期より2.1ポイント悪化。

建設業

- ・今期D I 値は△2.5となり、前回より2.5ポイント悪化、前年同期より8.0ポイント改善。
- ・来期D I 値は△20.5となり、今期より18.0ポイント悪化。



6. 設備投資状況

全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は22.0%となり、前回より5.0%、前年同期より2.1%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は18.6%となり、今期より3.4%減少。

製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は38.1%となり、前回より0.2%減少、前年同期より5.5%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は33.3%となり、今期より4.8%減少。

卸売業

- ・今期に設備投資を行ったとの回答は無く、前回より15.0%、前年同期より19.0%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は11.8%となり、今期より11.8%増加。

小売業

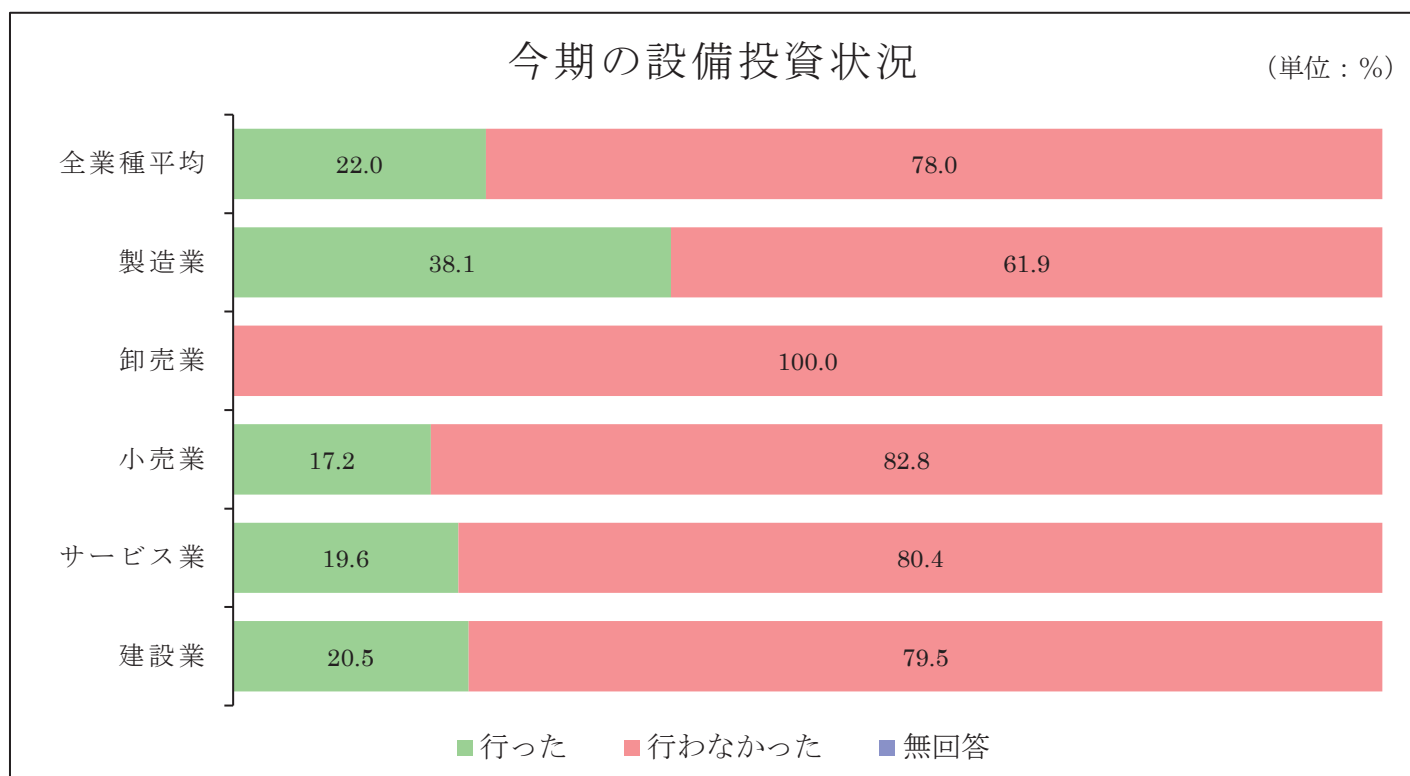
- ・今期に設備投資を行った割合は17.2%となり、前回より6.9%、前年同期より11.4%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は10.3%となり、今期より6.9%減少。

サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は19.6%となり、前回より9.9%減少、前年同期より1.4%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は13.0%となり、今期より6.6%減少。

建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は20.5%となり、前回より0.1%増加、前年同期より0.3%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は18.4%となり、今期より2.1%減少。



7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

全業種平均

- ・今期D I値は△33.5となり、前回より6.9ポイント、前年同期より9.5ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は20.2%となり、前回より5.2%減少。

製造業

- ・今期D I値は△33.4となり、前回より5.2ポイント、前年同期より16.7ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は23.8%となり、前回より14.5%減少。

卸売業

- ・今期D I値は△6.3となり、前回より1.3ポイント、前年同期より6.3ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は23.5%となり、前回より13.5%増加。

小売業

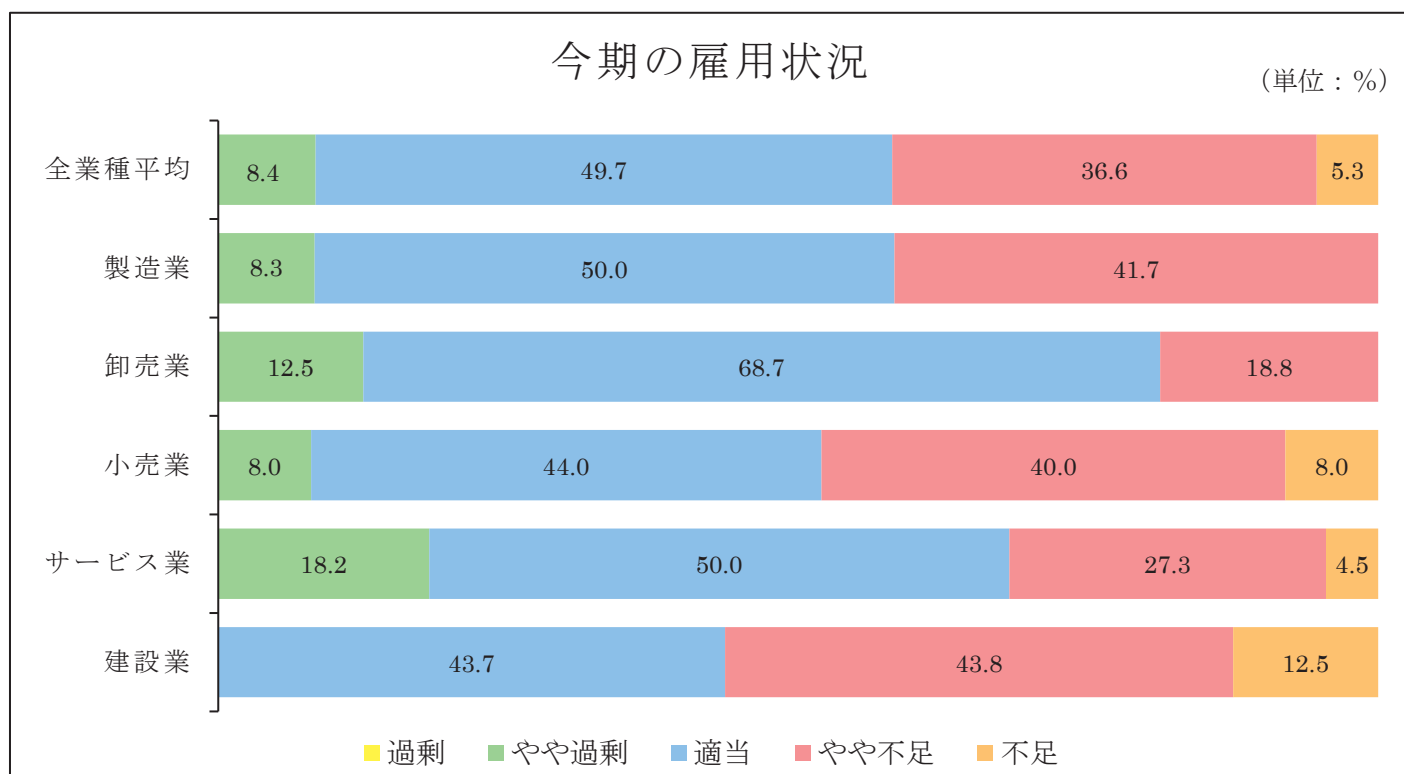
- ・今期D I値は△40.0となり、前回より15.8ポイント、前年同期より9.2ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は10.3%となり、前回より10.4%減少。

サービス業

- ・今期D I値は△13.6となり、前回より9.0ポイント、前年同期より13.6ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は13.0%となり、前回より1.6%増加。

建設業

- ・今期D I値は△56.3となり、前回より1.2ポイント、前年同期より3.7ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は30.8%となり、前回より3.9%減少。



8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

全業種平均

- ・「受け入れている」企業は3.5%となり、前回より0.8%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は3.5%となり、前回より0.2%減少。

製造業

- ・「受け入れている」企業は9.5%となり、前回より1.1%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は7.1%となり、前回より5.0%増加。

卸売業

- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は5.9%となり、前回より0.9%増加。

小売業

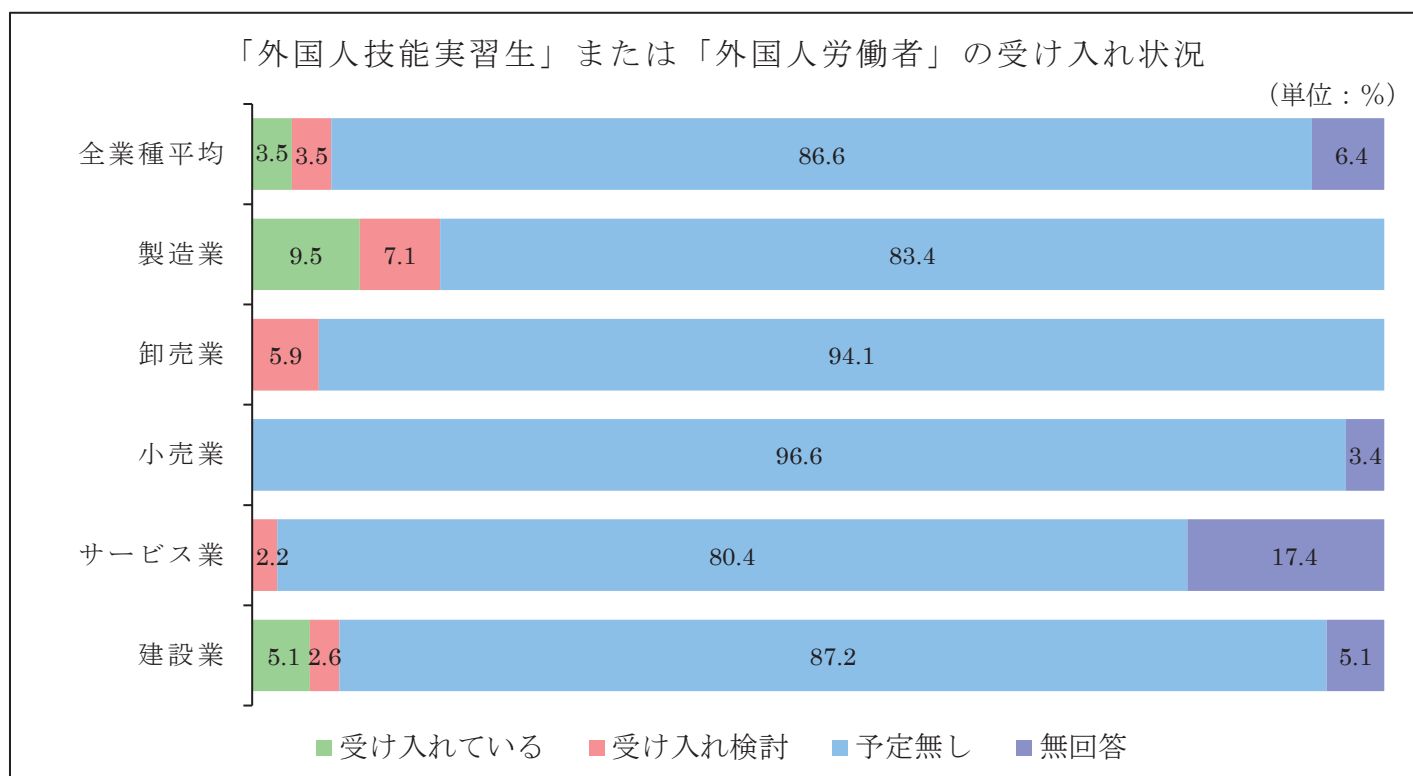
- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業についても引き続き無し。

サービス業

- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は2.2%となり、前回より2.3%減少。

建設業

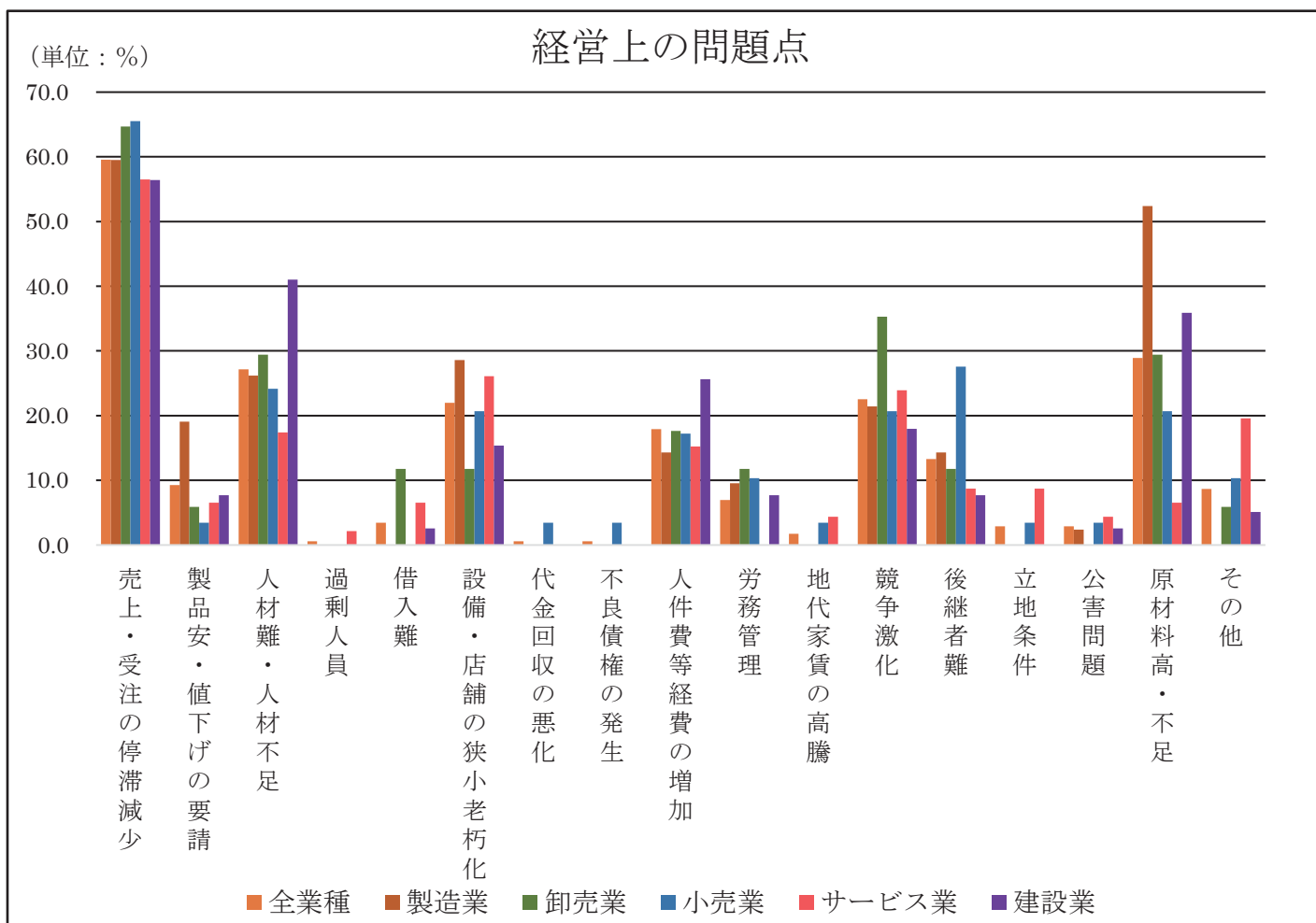
- ・「受け入れている」企業は5.1%となり、前回より1.0%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は2.6%となり、前回より3.5%減少。



9. 経営上の問題点

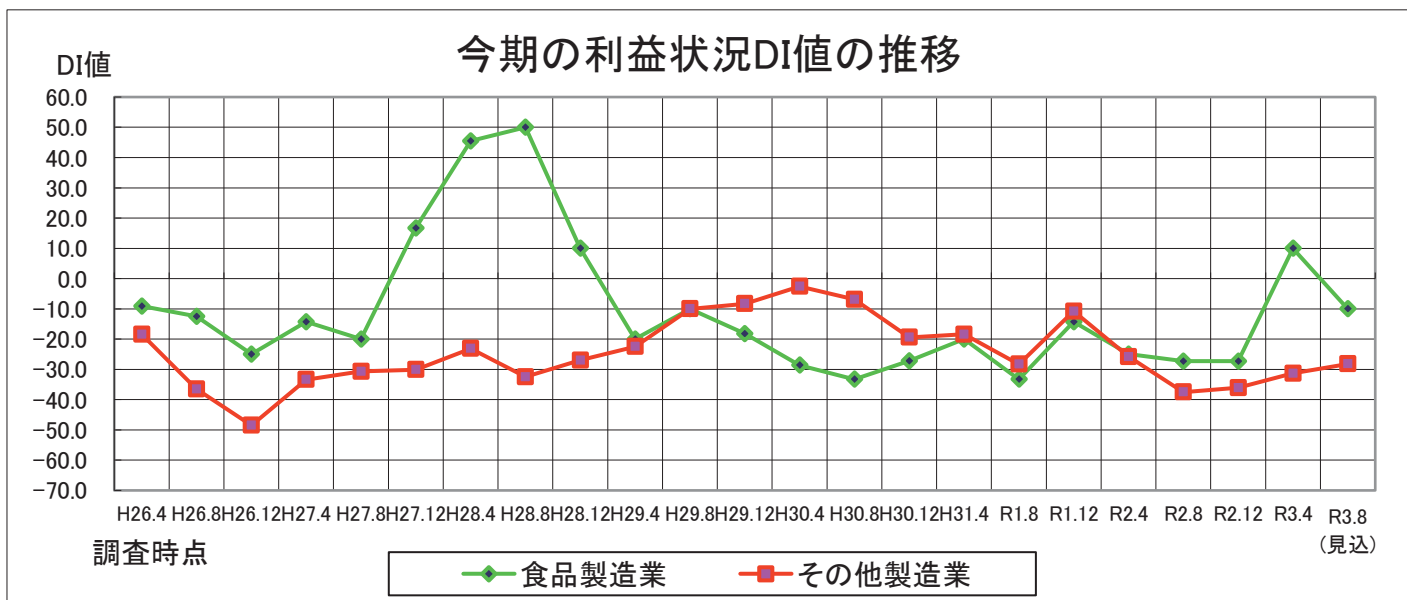
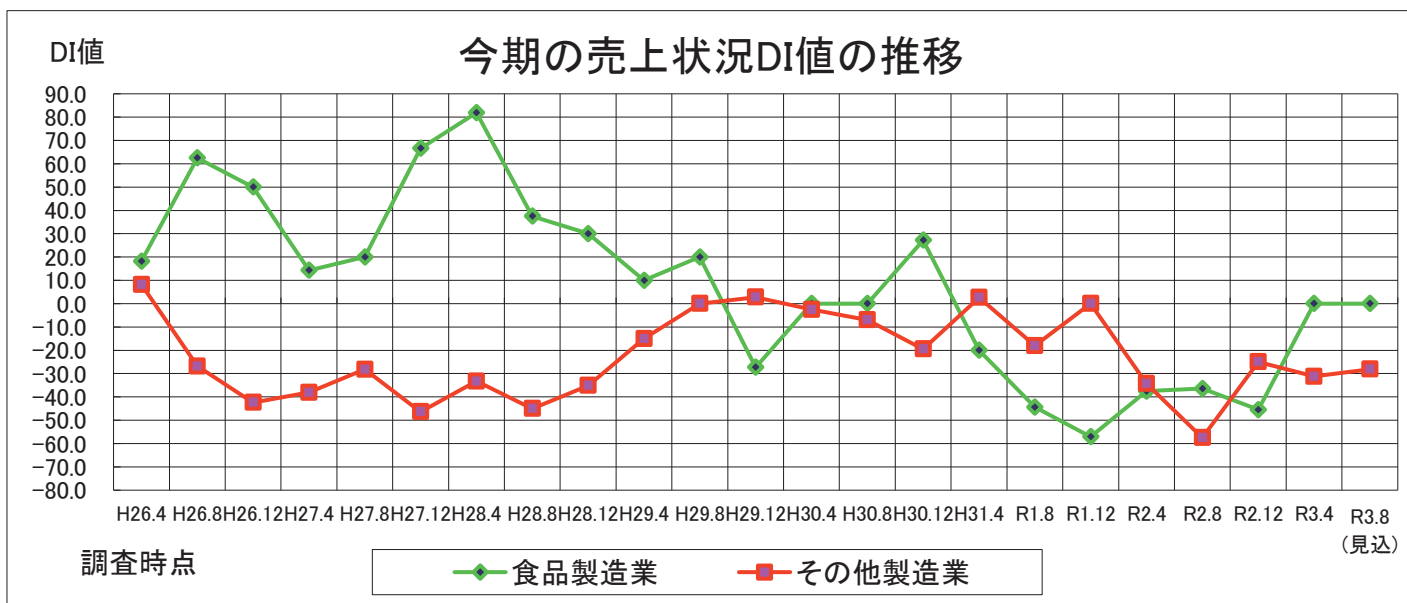
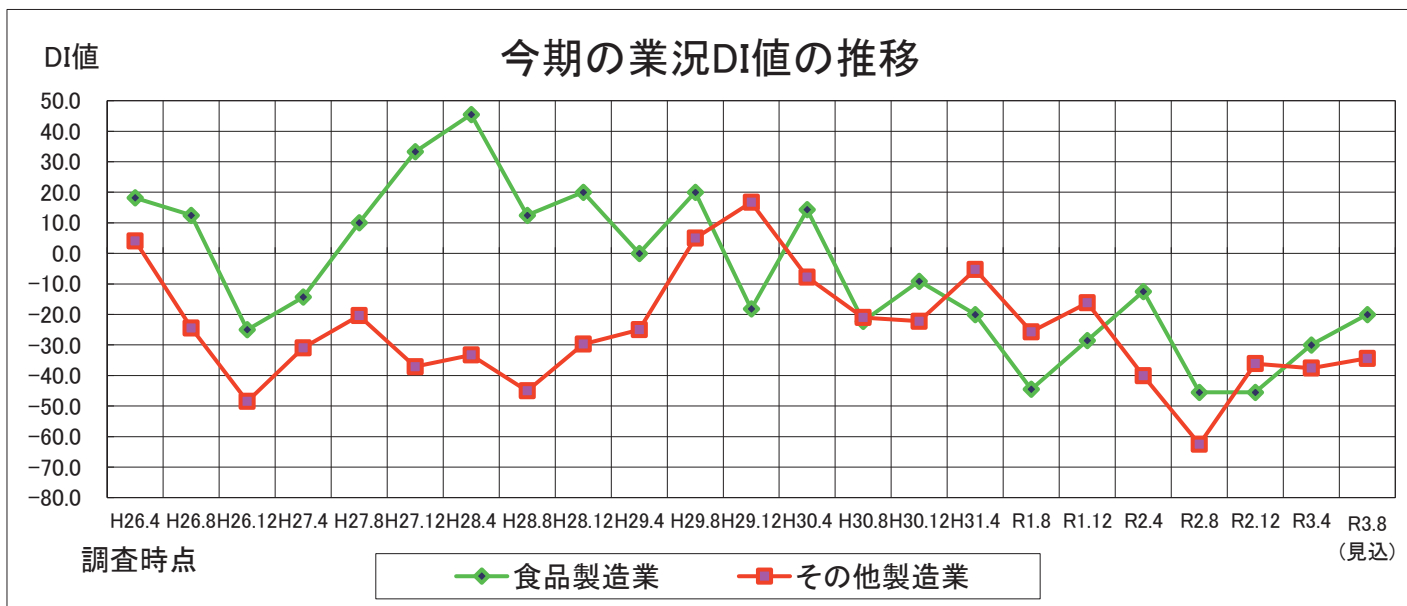
- ・全業種平均では「売上、受注の停滞減少」が59.5%と全体を通じて最も高く、次いで「原材料高及び不足」が28.9%、「人材難、人材不足」が27.2%と高い割合となっている。
- ・「その他」の意見として、「新型コロナウイルス感染症関連では、客足の減少、収束の遅れによる先行きの不安、自粛風潮による影響、消費者の生活スタイルの変化」「消費増税・物価上昇による売上・利益の減少」「廃材処理費の増大」「後継者教育」「社長の経営力や社員のスキル不足」「社内体制の整備」などに苦慮する声が聞かれた。
- ・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	売上・受注の停滞減少 (59.5%)	原材高及び不足 (52.4%)	設備、店舗の狭小老朽化 (28.6%)
卸売業	売上・受注の停滞減少 (64.7%)	競争激化 (35.3%)	人材難・人材不足 原材高及び不足 (29.4%)
小売業	売上・受注の停滞減少 (65.5%)	後継者難 (27.6%)	人材難・人材不足 (24.1%)
サービス業	売上・受注の停滞減少 (56.5%)	設備、店舗の狭小老朽化 (26.1%)	競争激化 (23.9%)
建設業	売上・受注の停滞減少 (56.4%)	人材難・人材不足 (41.0%)	原材高及び不足 (35.9%)

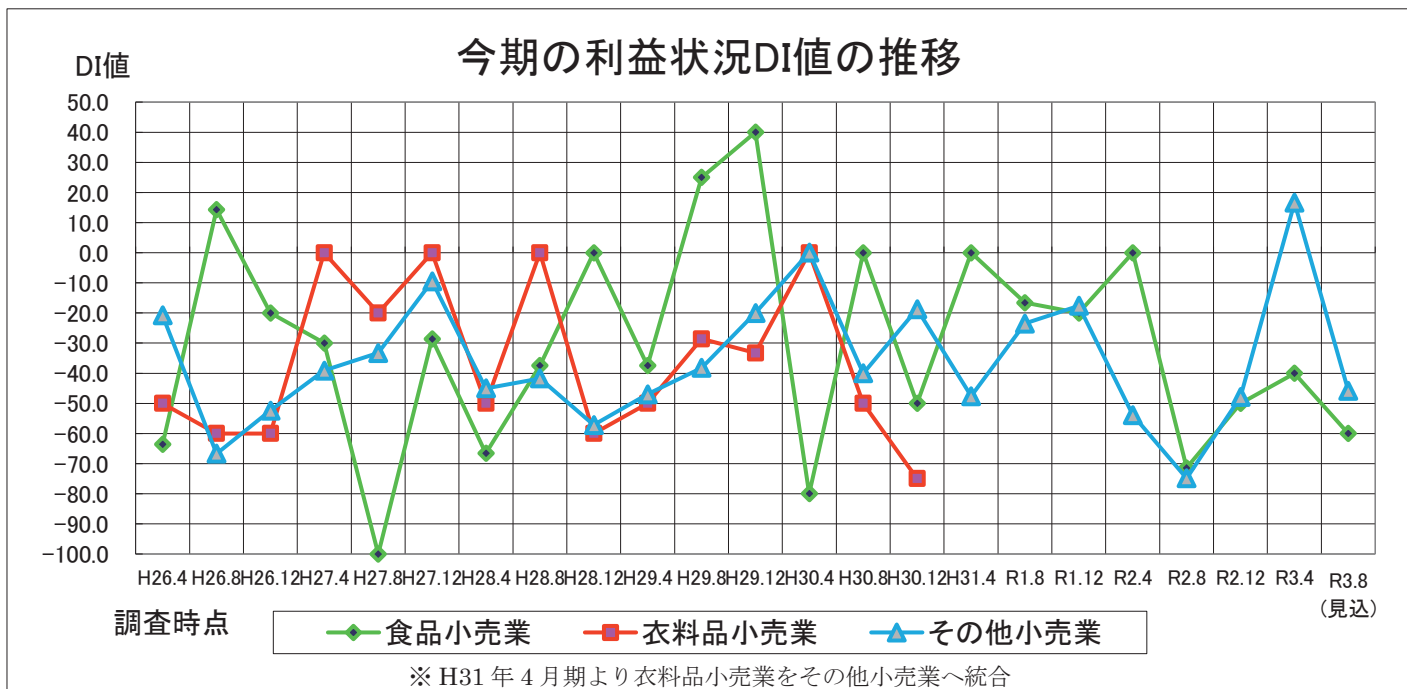
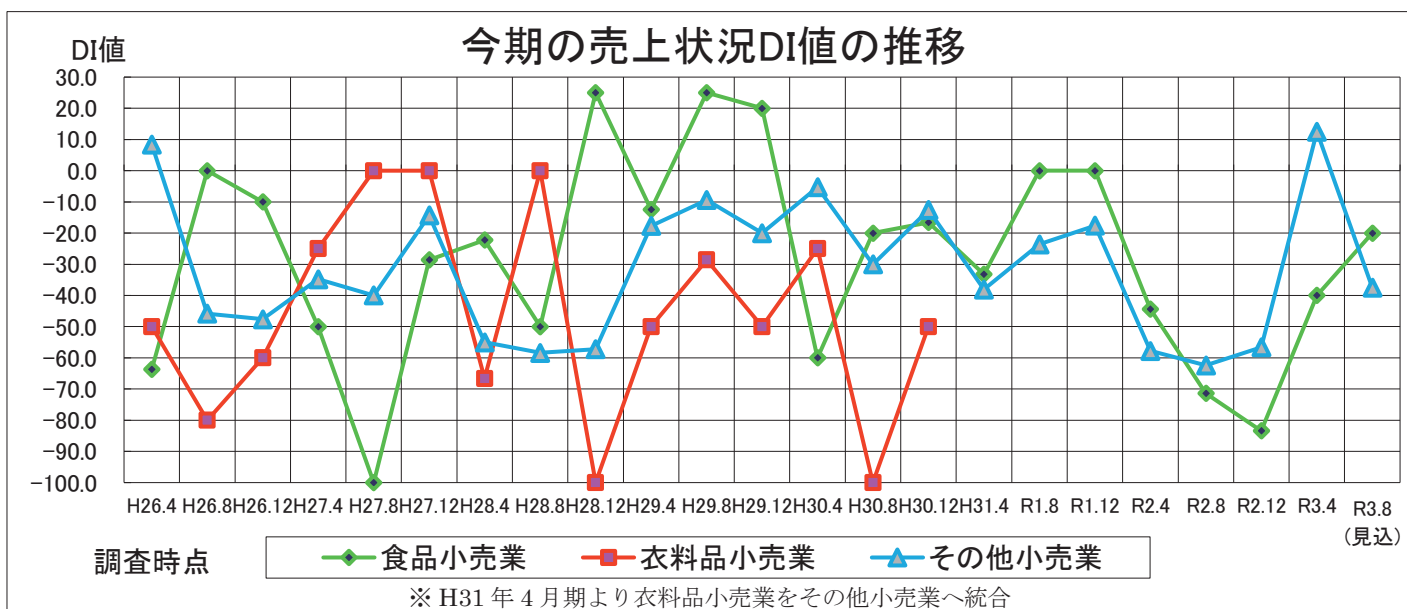
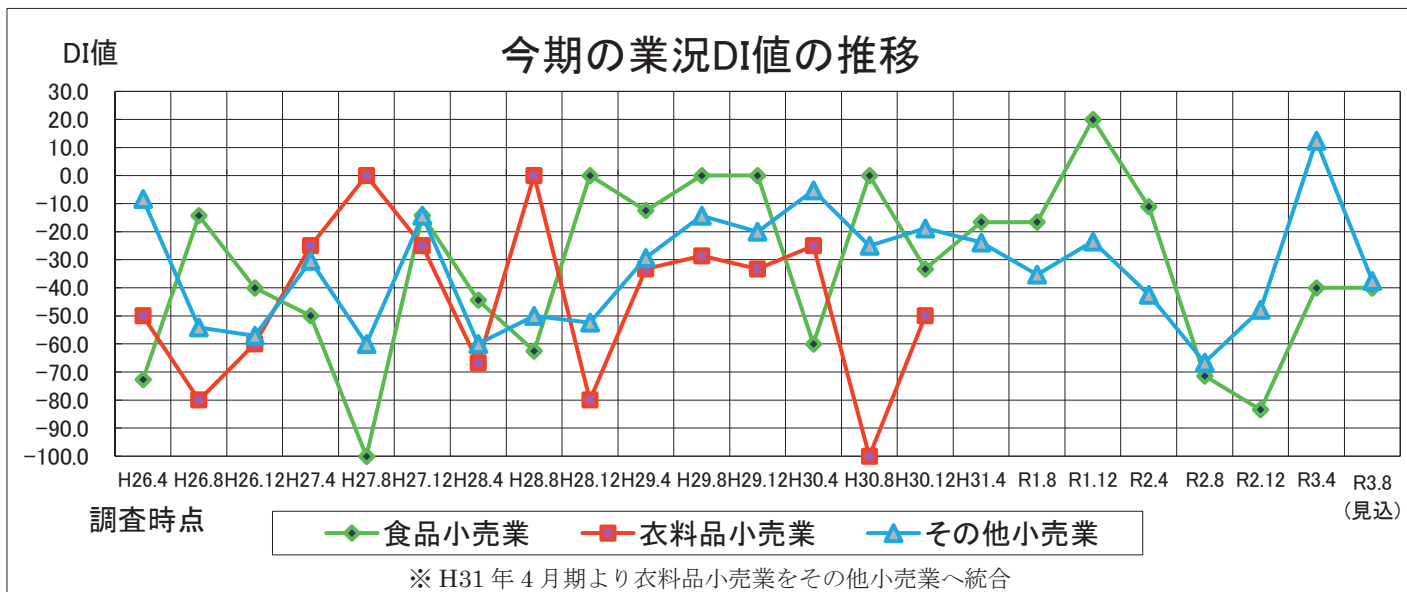


Ⅲ 業種別参考資料

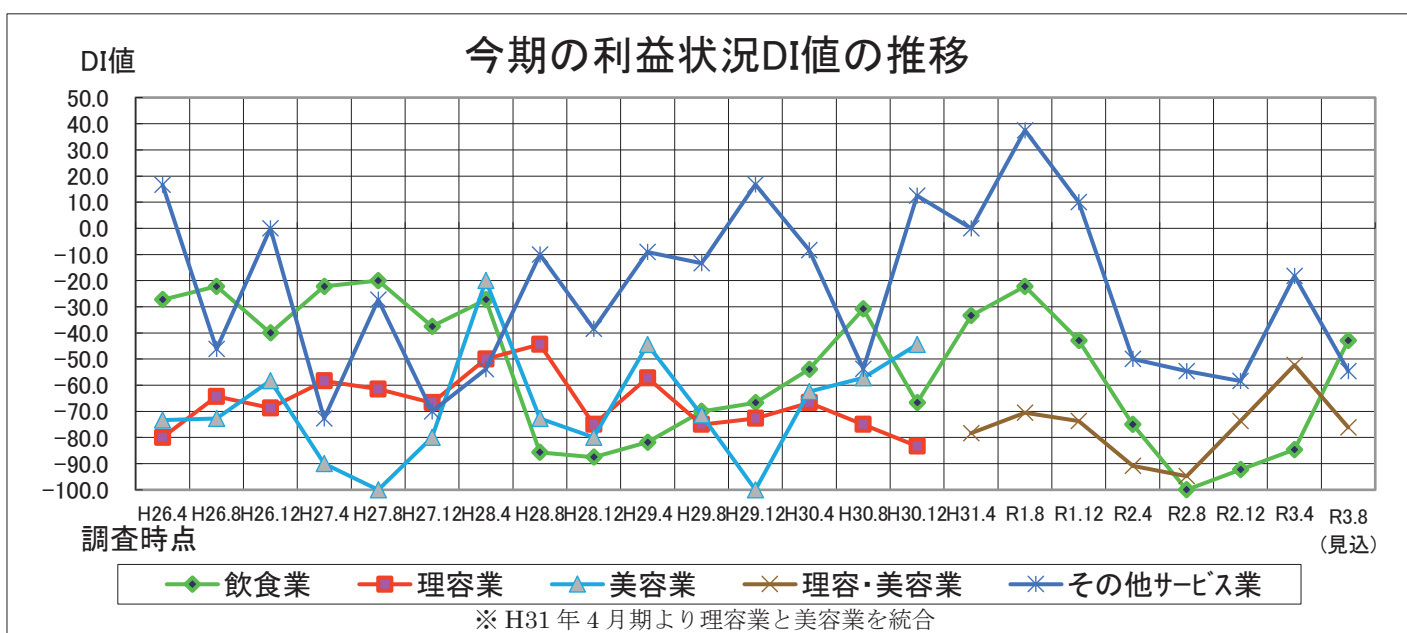
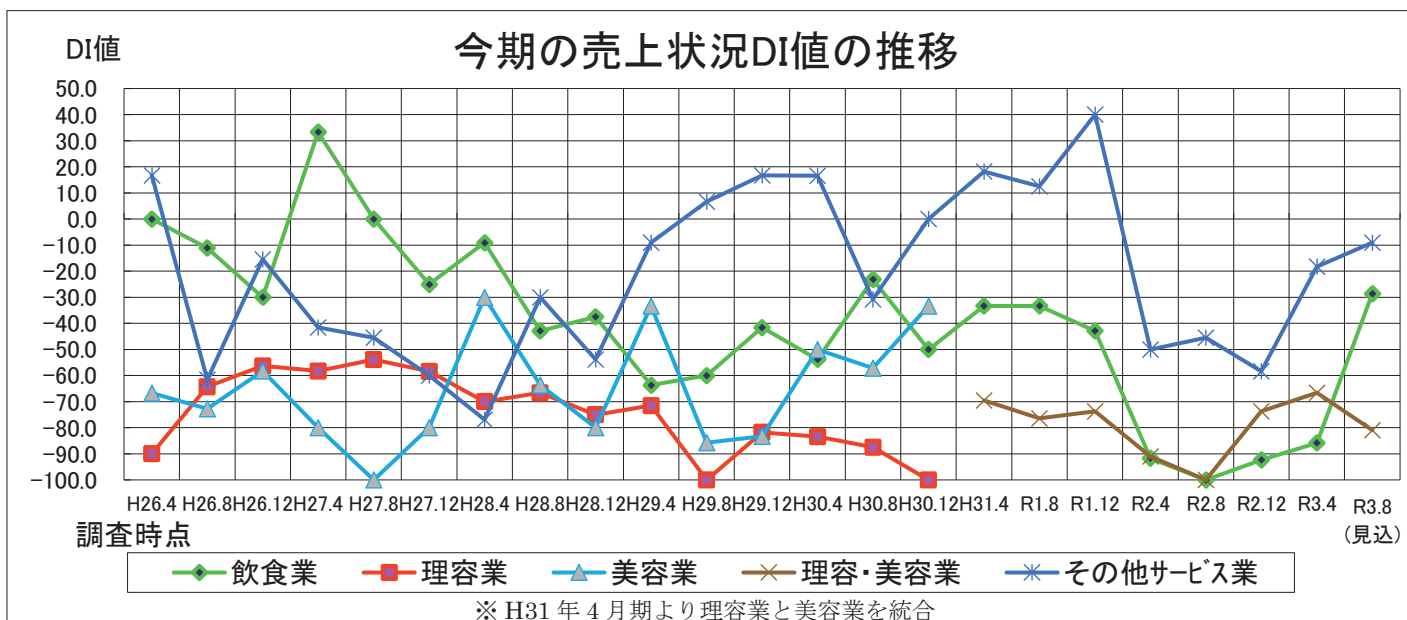
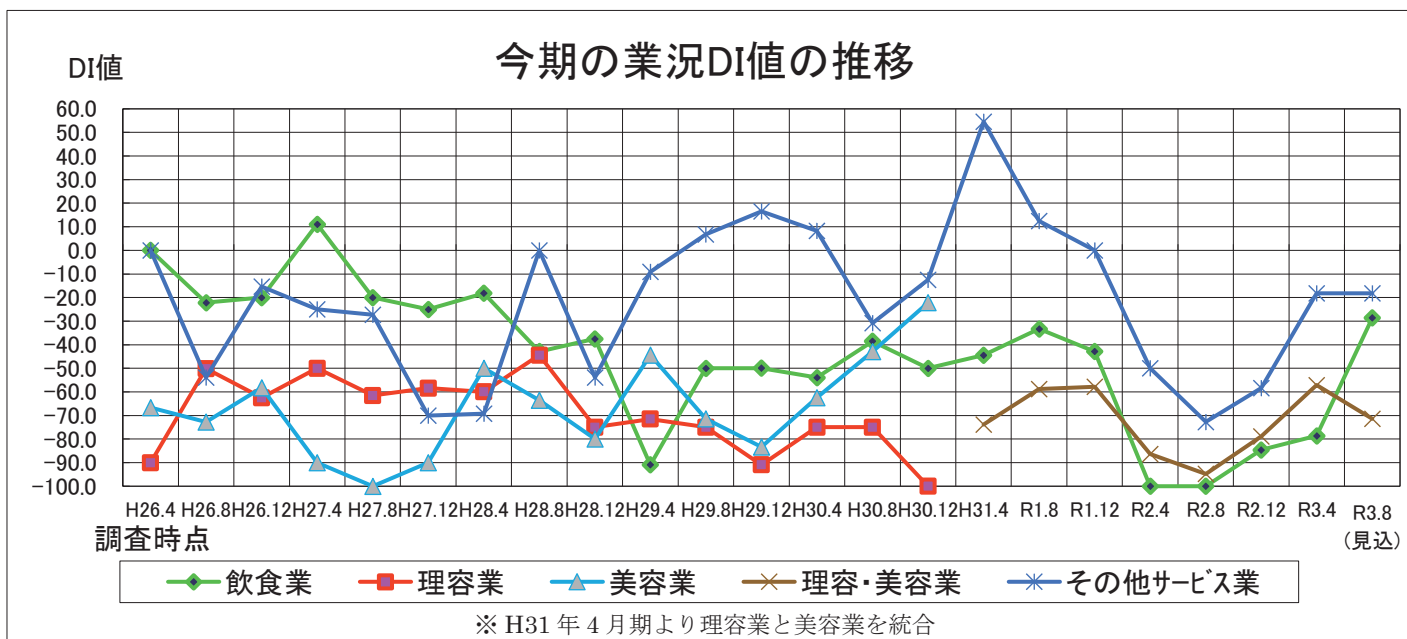
1. 製造業



2. 小売業



3. サービス業



4. 建設業

